

報告日 令和7年12月4日
報告回次 3回目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大牟田市			代表者名	市長 関 好孝
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	企画総務部デジタル行政推進室	連絡先電話番号	0944-41-2511
担当者役職	一般職	担当者氏名	古賀 順平	連絡先E-mail	
住所	836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	行政DX推進員育成事業
概要	R6年度に選出した行政DX推進員に対するDXマインドセット研修等を依頼したい。 あわせて、行政DX推進員が取り組む課題研究に関して、中間報告、最終報告での講評をお願いしたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	701	令和7年12月2日	支援・助言	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年12月3日	支援・助言（実地）	10時00分	15時30分	60
				活動時間（分）	270
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	オンライン
	所在地	オンライン		最寄駅からの交通手段	オンライン

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	長尾 飛鳥
評価	大変良い
上記評価の理由 (どのようなところがよかったです等詳細に)	行政DX推進員が取り組む課題解決演習報告会において、各班の報告内容及び今後の取り組みに対する講評を行っていただいた。 講評では、具体的に良かった点や改善点などを伝えいただき、各班が次に取るべきアクションが明確になるとともに、DXを推進する意識の醸成につながった。
アドバイザーへの要望事項	特になし。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】			合計人数	40人
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
		人数	40	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	本市の行政DX推進員が取り組む課題解決演習(プロジェクトマネジメント型)について、事務局もプロジェクトマネジメントの経験が乏しく、演習に対する適切なアドバイスができているか不安がある。また、関係者が庁内職員に限定されたクローズドな演習となっているため、取り組み内容や方向性について、専門的な見地を有する第三者から意見を得る機会がない。
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	行政DX推進員が、プロジェクトマネジメントの手法やDXの本質を理解し、主体的にDXに取り組めるようになること。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	行政DX推進員が取り組んでいる課題解決演習報告会での講評
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今回は上記報告会で、各班発表に対する講評および演習全体を通しての講評を実施していただいた。各班が今後取るべきアクションが明確になったほか、参加者のDX推進意識が醸成された。
具体的な成果物	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない</p> <p>途中段階であり、具体的な成果物はない。</p>
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。
アンケートの内容と分析結果	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。）</p> <p>アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。</p> <p>現在実施中</p>
4-3. 今後の計画	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい ①予算は確保済みであり、年度内に推進する</p> <p>研修事務局（デジタル行政推進室）が各班の取り組みのフォローを行うとともに、報告会での反省点を活かし、次年度の研修のプラッシュアップにつなげる。</p>
4-4. 事業の最終的な目指す姿	DXに対して、主体的に取り組む職員の育成、及びDXを推進することを前向きに捉える組織風土の醸成。

5. 報告書に関する地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 ○掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

